



平成 24 年 9 月 26 日

各 位

会 社 名 スパークス・グループ株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 阿 部 修 平
(JASDAQ コード番号 : 8739)
問い合わせ先 取締役 藤 井 幹 雄
電 話 番 号 0 3 - 6 7 1 1 - 9 1 0 0

不動産関連投資ファンドの設定等に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 6 月 15 日付の「不動産関連投資ファンドビジネスへの参入に関するお知らせ」において、海外の政府系ファンドからの出資のコミットメントを受領したことを発表いたしました。子会社である SPARX Asia Capital Management Limited(ケイマン)(以下、「SACM 社」)が Investment Advisor を務めるケイマン籍の SPARX Japan Residential Fund I, L.P. (以下、「SJRF I」)を設立し、その運用を開始する準備が完了いたしましたのでお知らせいたします。

また、SJRF I の投資目標を適切に達成する目的で、日本有数の住宅特化型投資法人であるアドバンス・レジデンス投資法人(以下、「AD投資法人」)の資産運用会社であるADインベストメント・マネジメント株式会社(以下、「ADIM社」)と当社との間で、国内に設立される住宅特化型の私募ファンドに対して SJRF I とAD投資法人が継続的に出資等を行うスキームにつき、本日、基本合意書の締結を当社取締役会にて決定しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. SJRF I の概要

- SJRF I は、ケイマン籍の Limited Partnership 形態であります。
- 投資家(Limited Partner)からの資金拠出はキャピタル・コール方式であり、当初は約 90 億円規模の国内私募ファンドへの出資となる予定です。今後、国内私募ファンドの設定に併せて、順次キャピタル・コールが実行される予定です。
- 国内私募ファンドの運用残高は最大 400 億円、期間は 5 年で、本年 9 月 28 日より運用開始を予定しております。

2. 業績への影響

SJRF I の運用開始により、SACM 社が管理・運用報酬を受ける他、国内の私募ファンドの運営状況等の報告を SJRF I 及びその投資家に英語で行う業務等による当社の収益計上を予定しておりますが、平成 25 年 3 月期の当社連結業績に与える影響は軽微であると判断しております。

来期以降における連結業績への影響及びその詳細等、今後適時開示の必要性が生じた場合は、その内容を速やかに開示いたします。

3. 今後の展開

ADIM 社との協働により、SJRF I において投資家の期待に応える運用成績を達成すると共に、グループにおける不動産関連投資のノウハウを更に蓄積することで、将来的には住宅に限らず、物流や商業あるいはホテル等を投資対象とするファンドを開発し、中東の政府系ファンドを始めとする海外機関投資家のニーズに応えてまいります。

また、日本国内における態勢等を整備し、国内の機関投資家等に対しても長期的に安定したキャッシュフローを産み出す不動産関連プロダクトを提供していくことで、当社グループのコアビジネスの一つに育成してまいる所存です。

以上